



右がお世話になったカーリン。彼はインバトパフォーマンスというショップを運営。Kブレイクの代理店業務も担当している。  
3月25日にサンフランシスコで開催されたスタンスネーション。ブースでは日本から持ち込んだグッズを販売。一番人気はKBタイヤで即完売。この日のために用意した特製けぶぶっも売り切れ、その後、20個以上も追加注文があったそう。意外だったのがステッカーで、「アメリカではもうのが当たり前の文化らしく、全然だったみたいですよ(笑)」。

**K** ブレイクのスタッフの河内くんが、単身でアメリカ出張。向こうで有名なチーム・エンドレスプロジェクトのカーリンが、「今度イベントがあるんで、ぜひ、僕らのクルマを見て来てほしい！」って、ラブコールしてくれたのがきっかけ。カーリンは日本にしょっちゅう来て、本場のVIPを吸収しようとしている人物。次は僕らにアメリカのVIPを見てもらいたいって思ったみたいで、彼はVIPに対して物凄く真剣なんです。

Kブレイクが海外のイベントにブースを出すのは初めてのこと。僕らとしても大きな出来事。なので、ちょっとドキドキでしたが(笑)、帰って来た河内くんから詳しく話を聞いて、凄く安心したというか、嬉しかったですね。  
特に嬉しかったのは、みんながK



僕も沖縄イベで経験したことがあります(笑)、イベント搬入の時に事故。あっや〜。でも、それを乗り越えて見事アワードを獲得。おめでとう!

ブレイクのことを知ってくれていたこと。そして、なかなか日本のメーカーがアメリカのイベントに出展することはないっていうのもあって、Kブレイクが来たことにみんながビックリしていたそう。ブースは大盛り上がりだったみたい。しかも、河内くんはサインまでせがまれたそう(笑)。  
向こうでは、ずっとカーリンたちと一緒に行動。それもあって、特別

## アメリカのイベントに初出展。向こうでもKブレは大人気



ブースの前にはカーリンが手配してくれたKブレイク仕様のシーマとアリストを展示。「どちらも本当にキレイ。日本では33系も16系も数が減りつつあるけど、こんな風にキレイにしていれば、まだまだ全然勝負できるなって思わせてくれました。古き良きじゃないけど、やり過ぎない仕様で、とにかくキレイさを追求している。この2台を見て正直、本場の日本の僕らも見習うべき点があるなって思われましたね。」

な友情も芽生えたみたい。っていうのが、そのイベントで、なんとカーリンたちのエンドレスプロジェクトがチーム賞を獲ったんですよ。会場では河内くんも含め、みんなで大喜び。で、河内くんが日本に戻ってきてトランクケースの中身を整理していたら、なぜか、その時の大事なトロフィーが出てきた。「やばい、持って来ちゃった」ってな

って、すぐにカーリンに連絡したら、「サブライズで入れたんです。記念に持っていてください」って。チームみんなで一丸となって獲った大切な大賞アワード。それを河内くんが持っているって欲しい。その話を聞いて、「あ、河内くんは彼らと本当の仲間になって帰って来たんだなあ」って、なんか涙が出そうになんか嬉しかったですね。



**K.BREAK**  
**大林 一樹**  
「カーリンへ。これからも一緒に大好きなVIPを広めていきたいと思います。次は僕も行くので、その時はよろしくお願ひします!」。

ここからは、編集部写真を送ってくれた2台をご紹介します。まずは松下周んの130マークX。  
ベースは前期なんですけど、後期のモデリスタのFバンパーを装着させているのがポイント。純正オプションとは思えないほど、今っぽくデザインされていてカッコイイ。  
必見はF3センチ・R4センチ出しのオーバーフェンダーで、純正のボディラインを生かした、違和感のない感じがとってもいいですね。足まわりはイデアルのスーパーマキシムで、ベッターと落とした車高も凄く目を引きます。ワンオフしたヘッドライトも自慢点で、シーケンシャル仕様になっているそう。今は光が動いて当たり前って感じの時代ですが、それをキチッと押さえているのも素晴らしい。  
やり過ぎず、やらな過ぎずで、凄



兵庫県 / 松下 健吾 (30歳)  
今、密かに熱いマークXを青木くんはドレスアップ。テーマはシンプルラグジュアリーVIP。キレイに仕上げたオパファンが◎。19インチのライズメントの奥には、イデアルのブレーキの姿も。室内も抜かりなく手を入れ、高級感をアップさせている。

くバランスがいいと思うので、今後この調子で頑張ってくださいね。そして、次は青木くんのプレジ。派手さよりもバランスを重視して、高級外車チューナーの雰囲気を目指してイジっているそう。  
カタログの写真も送ってくれたんですけど、「これは高校生の時にブ

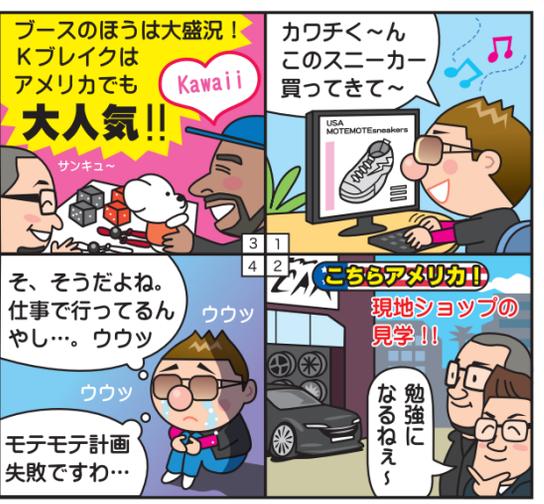


レジが好き過ぎて、ディーラーでもらったモノなんです」って。それを36歳の今も大事にしている。たぶん、ディーラーの方は「高校生や、絶対に買わんやろ」って思っていたと思うんですよ(笑)。だから、その営業マンさんがこの事を知ったら、めちゃめちゃ喜ぶでしょうね。  
あと、ガレージの写真。これは青木くんの自宅のガレージで、プレジが入るように専用設計したそうなんです。ホンマにプレジを愛しているんですね。凄い。  
そして、僕が一番いいなって思ったのは、毎日乗っているってこと。だから、安全性を考えてフェンダーにウインカーも入れたそう。僕はクルマに乗ってナンボだと思っていて、普段から乗っている人が一番だと思う。これからもずっと、プレジを好きでい続けてください!

**投稿募集中**

「僕もKブレイクの大林サンに愛車を評価して欲しい!」と思った方は、ぜひ編集部まで写真とアンケートを郵送してください。大林サンが愛情をたっぷり添えて、キミのクルマを全国の人々に紹介してくれますよ。

## 「靴より友情」の巻



「カワチくん、もしアメリカで時間があったら、アウトレットでスニーカーを買ってきて♥️。しかし、そんな時間はない、河内くんは大忙し。カーリンと一緒に現地のショップを見学したり、事故ったアリストの手助けをしたり、ブースの準備をしたり、とってもハードな毎日。それもあって、カーリンたちと真の友達にもなれた。だからね、僕の靴なんていいんです。欲しかったけど、ホンマにどうでもいいんです(涙)」。



愛知県 / 青木 秀陵 (36歳)  
フロントはインフィニティ用の社外エアロをワンオフ。200マジェのフォグと中央開口部のメッキで高級感をUP。フェンダーはF1.5・R2.5センチのプリスター仕様で、切り上げたりアドアもキレイに処理。リアもワンオフでスポーティに演出。足まわりは車高調で、ワンオフのアームも装着している。